

## 4月の植物

### ツクシキケマン (ケシ科)

学名 : *Corydalis heterocarpa* Siebold et Zucc. var. *heterocarpa*

関東地方以西から沖縄まで路傍に生える。海岸性で佐賀県では東松浦半島近辺に多くみられる。高さ 40~60cm 程度。葉は 2~3 回 3 出羽状に複生。花は総状花序につき、多数の花を密につけ、黄色で、ひとつの長さが 15~20mm。果実はさく果で、長さ約 2cm、幅 3~4mm、鞘が数珠状にくびれるのがポイント。通常のキケマンは数珠状にくびれないのが区別点になる。花期は 3~5 月。

ケマンとは、仏様を飾る道具の「華鬘(けまん)」に似ていることが由来。華鬘は模様を彫り抜いた金属の板を天井からつり下げて仏様を飾る道具。

ミヤマキケマンは山地性で、ツクシキケマンのように鞘が数珠状にくびれる。佐賀県内の山地にも見られる。ムラサキケマンは紫色の花で都市部でも普通にみられる。

(寺村 朋輝)

